



枝川小だより

やればできる
自分で考え、行動し、
決める場面を多く設定しよう

第50回 全校音楽発表会を開催しました

11月1日(土)、第50回全校音楽発表会を開催しました。50年前、全校音楽活動の礎を築かれた伊垣 信先生が始められて以来、半世紀にわたって続いてきた伝統行事です。その節目を迎えたことを大変意義深く感じます。当日は、ご来賓の皆様18名を含めて、保護者や地域の皆様、計90名以上の方々にご来場いただきました。心より感謝申し上げます。子供たちは、これまでの練習の成果を発揮し、温かい拍手と笑顔に包まれながら、心に残る音楽発表会となりました。

全校合唱は「ビリーブ」と「ドレミの歌」を元気いっぱいに歌い上げました。「ビリーブ」では、歌詞に込められた思いを伝えようと手話を交えて歌いました。また「ドレミの歌」は、ダンスを取り入れて表現しました。9月以降、講師の小澤弓先生から何度もご指導をいただいた成果です。また、学年発表において2～4年生は音楽に合わせて体を動かす楽しい演奏を、5・6年生は落ち着いた表現力のある演奏を聴かせてくれました。

4～6年生の合奏団は、何か月も練習を重ねた曲を堂々と演奏しました。「Little Brown Jug」では、中学生4名のサポートメンバーを加え、軽快なジャズのリズムと、6年生によるソロパートの力強い演奏に、会場から大きな拍手が送られました。

共演してくださったひたちなか市民吹奏楽団23名の皆様は、「かわいいだけじゃだめですか?」や「ジャンボリミッキー!」で、迫力ある演奏を披露し、会場を盛り上げました。さらに「星に願いを」と「ライラック」で、本校合奏団との合同演奏が今年も実現しました。

音楽発表会に向けては、ピアノ伴奏者の坂出 律子先生、合奏団では藤 貴史先生と高岡 光昭先生にご指導いただき、本当にありがとうございました。



PTA親子奉仕作業を行いました

10月24日(金)の午後、校舎のトイレ及び体育館を中心にPTA親子奉仕作業を実施しました。6名の保護者の皆様にご参加いただきましたことに、心より感謝申し上げます。

子供たちは、1週間後に控えた全校音楽発表会に向けて「お客様に気持ちよく過ごしていただけるように」と意識しながら、丁寧に取り組みました。窓を一生懸命磨いてピカピカにしたり、廊下の隅々までほうきで掃いたりする姿が見られ、保護者の皆様と協力しながら学校が少しずつきれいになっていく様子に、子供たちも誇らしげな表情を見せていました。

なお、同日午前、校務員の寺門さんが玄関前の「モチノキ」を伐採する作業を行いました。長年にわたって本校のシンボルのように親しまれてきましたが、病気(すすかび病)のため、残念ながら切らざるを得ませんでした。



サッカーボールを寄贈していただきました

10月28日(火)、明治安田生命保険水戸支社の水戸西営業所 小久保所長より、サッカーボールを寄贈していただきました。この寄贈は、同社の「未来世代応援アクション with Jリーグ」の一環で、「地域の子供たちの健全育成に役立ててほしい」との思いが込められ、全国の子供たちに約5,000個のオリジナルサッカーボールをお届けしているそうです。当日は、児童代表の6年生が直接ボールを受け取りました。サッカーボールを今後大切に使って、子供たちの体力づくりや仲間との交流に生かしてまいります。

